

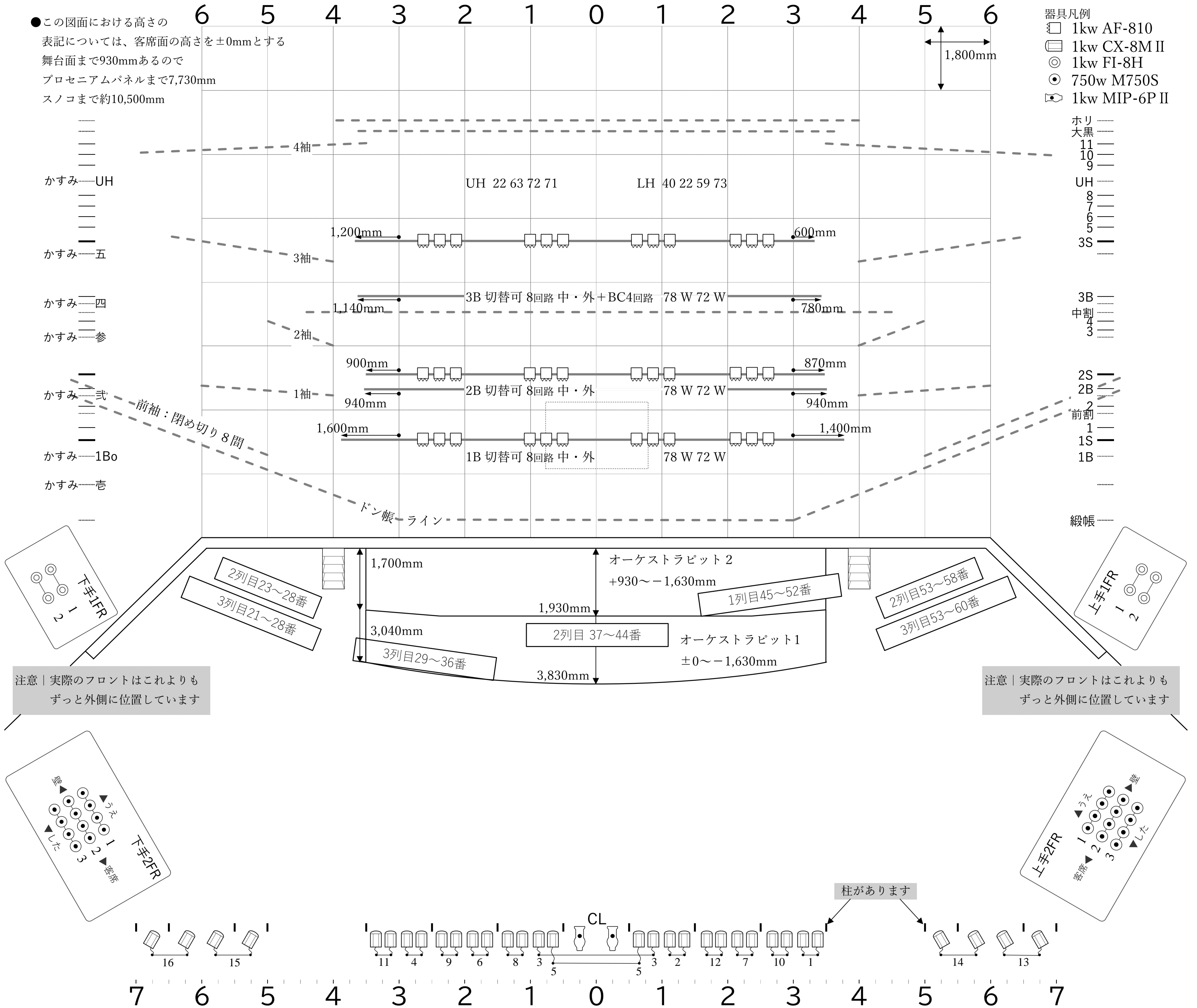
群馬音楽センター 照明図面

2020(令和2)年6月1日現在

注意 | 印刷される場合はA3を推奨します

●この図面における高さの

表記については、客席面の高さを±0mmとする
 舞台面まで930mmあるので
 プロセニウムパネルまで7,730mm
 スノコまで約10,500mm



- 器具凡例
- 1kw AF-810
 - 1kw CX-8M II
 - 1kw FI-8H
 - 750w M750S
 - ◇ 1kw MIP-6P II

- ホリ
- 大黒
 - 11
 - 10
 - 9
 - UH
 - 8
 - 7
 - 6
 - 5
 - 3S
 - 3B
 - 中割
 - 4
 - 3
 - 2S
 - 2B
 - 2
 - 前割
 - 1
 - 1S
 - 1B
 - 緞帳

注意 | 実際のフロントはこれよりも
 ずっと外側に位置しています

注意 | 実際のフロントはこれよりも
 ずっと外側に位置しています

持込卓用DMX入力について

- 調光器は30年以上経過していますが、D/A変換装置を備えていますのでDMX制御が可能です。
- 強電パッチによるアドレスchの割付を行なってください。
 ch1-70/6kw、ch71-80/3kw
 ch81/客電(60w白熱灯) | 固定
 ch82/客電(調光式蛍光灯) | 固定

シーリングについて

- 内側24台と外側の4台ずつは別部屋のような感じになっています。
- 外側の4台があるエリアは建築構造上、約20度の勾配があるためフォーカス作業がしづらくなっています。パッチの際は内側の24台と外側でフェーダ分けすることを推奨します。
- MIP-6P IIの回路はステージに立ち降りていて、使用する場合はC-下上1に差し込みます。

FR・CLへの経路

- 舞台1階フロアから地下1階へ降りて、上下両サイドの空調ダクトをすり抜け、狭い空間の猿梯子を登ることになります。シートを持って上がる際はご注意ください。
- 1FRから2FRへは直接行けません。いったん下りて別の猿梯子を登ってください。なお、2FRからCLへは、下手・上手ともに直接通じています。

サスバトンの間口について

- すべてのサスにおいて、器具を吊り込むバトンの全長が8間に満たないうえ、センターからの長さが下手と上手で違います。上記図面を参考にアレンジをお願いします。

内側24台によるパッチの一例

回路	11	4	9	6	8	3	5	2	12	7	10	1
6台4色	A	B	C	D	A	C	D	B	D	C	B	A
8台3色	いろ	は	いろ	は	いろ	は	いろ	は	いろ	は	いろ	は
12台2色	α	β	α	β	α	β	β	α	β	α	β	α

注意 | 強電パッチの特性上、フェーダ1本あたりは容量内(6kwもしくは3kw)で収めてください。

2FRについて

- 1灯750wの器具なので通常4台3色で運用していますが、空き回路4番へ差し替えることで3台4色のアレンジも可能です。

詳細は技術課照明担当までお問合せください